

会 議 録

1 会議名

第3回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 協議(公開)

平成27年度地域活動支援事業について

(2) 自主的に審議する事項(公開)

ア 通学定期運賃の取扱いについて

イ 柿崎区における保育園のあり方について

(3) 会長報告(公開)

(4) その他(公開)

3 開催日時

平成27年5月25日(月)午後7時00分から午後7時41分まで

4 開催場所

柿崎区コミュニティプラザ3階 305・306・307会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委員：薄波清美、金子正一、神岡八江子、木下高重、小池猛紀、小出優子、小関茂夫、小松美明、小山貞榮、佐藤 健、白井一夫、白井秀雄、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、宮澤安雄、吉村 登、渡邊征雄
- ・ 事務局：早川寿男柿崎区総合事務所長、横田一次長、永春勲参事、大場正弘総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、中村稔市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代総務・地域振興グループ班長、田鹿成美総務・地域振興グループ主事、小田一輝総務・地域振興グループ主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容等

【横田次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員半分以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐藤会長】

会議録の確認：薄波委員に依頼

次第3協議事項「平成27年度地域活動支援事業について」事務局に説明を求める。

【田鹿主事】

資料「平成27年度 地域活動支援事業審査結果表」により説明

【佐藤会長】

今回は提案のあった9事業すべてにおいて、柿崎区の地域協議会の採択基準で定めている、共通審査基準の評定15点であること、また各項目の評価がそれぞれ3点以上であるということを満たしている。採択基準に照らし合わせ、採択することとして良いか。

【白井(一)委員】

この平均点の合計はどのように求めたのか。

【田鹿主事】

提案団体の役員を務める委員は審査の対象外となっているので、採点には加わっていない。

【白井(一)委員】

委員の除斥があつて、この数字になるのか。

【田鹿主事】

委員1名が審査から除斥されると、母数が17名となる。平均の求め方で計算し、この

結果となる。

【白井(一)委員】

「かきざきデザインコンシェルジュ事業」の東北視察研修では、東日本大震災の被災地を巡る旅ということだが、被災地へボランティアへ行く人もすべて自費で行っている。先のプレゼンテーションでは、宿泊費や飲食代は自費と説明があったが、それは当たり前のことである。この東北研修が採択されることは納得がいかない。

【佐藤会長】

このことについては、次第6の「その他」で、時間を取るなので、そこで発言してほしい。今はこれらを採択するかしないかということ協議してもらいたい。

【木下委員】

「かきざきデザインコンシェルジュ事業」は、昨年とほぼ同じような提案内容である。特に福島県への視察研修については内容的に一緒であると思う。

平成26年度は、6つの小事業を展開し、約130万円の補助金をもらっているながら、成果発表会はA4用紙1枚だけの報告書であった。130万円という血税を使っているのであれば、それなりの報告書にするべきである。

【佐藤会長】

いろいろと意見があると思うが、これらについては来年の検討課題とし、今回の地域活動支援事業について、採択するかしないかをここで決めたい。

【曾田委員】

すべての事業において15点以上となっているため、採択基準に基づき、採択しないというわけにはいかないと思う。会長の考えに賛成する。

【佐藤会長】

今回の提案事業については、すべて採択することとして良いか。

(委員より「はい」の声)

それでは、9事業を採択とする。

地域活動支援事業がすべて採択となったので、配分額の残余が99万1,000円となる。追加募集を行いたいと考えるが、意見や要望はあるか。

(委員より「なし」の声)

【佐藤会長】

それでは、追加募集をすることとする。募集期間等については、正副会長及び事務局の一任とさせていただきたい。

続いて、次第4「自主的に審議する事項について」、まず、通学定期運賃の取り扱いについてだが、前回、開催した勉強会では、現在の運賃体系や県、市の補助状況を確認した。私の受け止めとしては、市に対して今以上の上乗せを求めていくことはなかなかできないのではないかと考えているが、皆様はどのように考えるか。市では既に26億円余りの支援をしている。その辺りを踏まえた上で、意見をいただきたい。

【長井(泰)委員】

以前、地域協議会で、高田へ通学している子どもを持つ保護者の話を紹介した。その保護者が県議会議員へも要望したということを知っている。具体的な内容までは聞いていないが、県議会でも取り組んでいくことになると思う。私たちは地元の問題解決のために取り組むことが責務であると考えてるので、理解していただきたい。

【佐藤会長】

他に意見はあるか。

【小出委員】

勉強会で配付された「乗継割引適用範囲」の資料では、潟町が10kmを越えているが、割引の適用範囲となっている。柿崎区では上下浜が14km、柿崎が17.6kmで、JRの割引の範囲外である。通学定期に関してのみ、すべての区で割引が適用されるよう考慮し

てほしい。

【佐藤会長】

それでは、意見書を提出するかしないかの採決をとる。

(委員 17 人中、14 人が「意見書を提出する」に挙手する。)

賛成が絶対多数である。まずは、次回の地域協議会において意見書の骨子を協議したいと考えるが良いか。

次に、「柿崎区における保育園の在り方について」だが、閉会後に第 2 回の検討委員会を開催する。検討委員は閉会後も残ってもらいたい。

続いて、次第 5「会長報告」に入る。今年度の頸北 4 地区の合同研修会だが、今回の幹事は頸城区地域協議会である。開催時期を 7 月 17 日の金曜日と予定している。テーマについては仮ではあるが、「地域協議会と市議会、町内会との関わり」とし、朝日新聞の記者である菅沼栄一郎さんを講師に招きたい。詳細については、事務局で調整して案内する。

次に、次第 6「その他」に入る。

先ほど、今年度の地域活動支援事業について、様々な意見をいただいたが、その他に、反省点や改善点はあるか。

【木下委員】

成果報告会の報告様式は定義的なものはない。したがって、統一したものを作っておいた方が良いのではないかと思う。過去の事業を振り返るときに調べやすくするためにも、文書にして残すべきである。また、補助金で事業を実施するため、その収支がわかる書面も成果報告会で委員に配付すべきではないか。その点を検討しなければならないと考える。

【佐藤会長】

他にあるか。

【白井(一)委員】

「かきざきデザインコンシェルジュ事業」について、昨年実施した東北視察研修に、地域協議会委員も数人参加しているようだ。偏見になってしまうかもしれないが、研修に参加した委員が採点すれば、得点が高くなってしまわないか。未だにこの採点結果に納得がいかない。

また、プレゼンテーションでは、大潟区の方が発表している。柿崎区の事業提案として、相応しいのか疑問である。

【渡邊委員】

誰もが腑に落ちる採択結果にするべきである。採択基準については、協議に時間をかけることが必要ではないか。

【佐藤会長】

私の考えとしては、プレゼンテーションにおいて、委員からあらかじめ提出された意見や質問に対し、その場で説明があった方が分かりやすいと思う。プレゼンテーションの方法も検討する余地があるのではないか。

皆様からいろいろな意見をいただいたが、これらについては、来年度の検討事項としながら、総務・地域振興部会を中心として検討してもらいたい。

【小出委員】

プレゼンテーションの実施方法について、他区ではヒアリングという形で、実施している地域協議会もある。ヒアリングのような形態に移したほうが、納得できるのかなど考える。

【佐藤会長】

引き続き、次第6「その他」について、事務局からお願いしたい。

【早川所長】

柿崎区で管理している頸北斎場について、皆様に承知してもらいたい事項として報告する。当施設は平成3年に作られ、約24年が経過した。設備の経年劣化、老朽化が進み、

修繕費が毎年約 600 万円となっている。最近では、ホールの暖房機が故障し、約 300 万円かかるということになっている。

我々としては、将来に向けて、毎年かかる経費を抑えていかなければならない反面、頸北斎場の稼働率は現在 22.5%であり、稼働率が非常に低く、経営効率が悪いと解釈できる現状にある。

上越市では上越斎場、頸北斎場、経塚斎場の 3 つの斎場を利用している。それぞれ老朽化という問題があり、上越斎場はかかる経費がもっと大きい。従って、近い将来を考えた場合、斎場の在り方というものを考えていかなければならない時期にある。今年、斎場の在り方の基本構想を策定する中で、その内容を皆様に説明し、理解していただく段階に入ってくる。この基本構想は、10 月頃に出されると思うので、時期が来たら改めて報告したいと考えている。また、このことは、今月 29 日に開催される町内会長連絡協議会へも報告する。

頸北斎場については、大潟区、吉川区も関係しているため、それぞれの所長から同じように報告していきたい。

【佐藤会長】

続けて、事務局からお願いしたい。

【唐澤班長】

移動巡回型地域協議会と地域振興懇談会について説明する。来月から、地域へ出かけて地域協議会を開催することになる。6 月は下黒川地区である。町内会長連絡協議会で、下黒川地区の町内会長へ依頼し、6 月の中旬にチラシを配布する。

また、今回は地域協議会にあわせて地域振興懇談会を開催する。地域振興懇談会では、第 6 次総合計画の重点戦略である「暮らし」「産業」「交流」を中心としたまちづくりの一環として、柿崎区で実施する主な事業について紹介したい。地域の皆さんからは、普段の生活で困っていることや、市へ聞いてみたいことなど発言してもらい、意見交換をしたいと考えている。

【佐藤会長】

質疑を求める声がなかったので、今後の予定の確認をする。

- ・第4回地域協議会：6月26日(金) 午後7時から
- ・会議の閉会を宣言

(午後7時41分 閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-536-6710（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。